

平成28年度

事業概要

Outline of activities



発行所

愛知県赤十字血液センター
〒489-8555 愛知県瀬戸市南山口町539-3
TEL 0561-84-1131
<http://www.aichi.bc.jrc.or.jp/>

JAPANESE RED CROSS AICHI BLOOD CENTER
539-3 Minamiyamaguchi-cho Seto, AICHI JAPAN zip489-8555

平成29年9月29日発行



本誌は、再生紙を使用しております。



日本赤十字社

愛知県赤十字血液センター

ごあいさつ



愛知県の血液事業の推進につきましては、平素より県民の皆様をはじめ、愛知県、市町村、各献血推進団体及び医療機関等の関係各位のご支援とご協力を賜り厚く御礼申し上げます。この度、平成27年度の愛知県赤十字血液センターの事業概要を取りまとめましたので、ご報告申し上げます。

平成27年度の献血者数は、延べ276,235人と前年度と比較して1％減少しております。血液製剤の安全性の向上並びに効率化を考え、現在では400mL献血及び血小板の分割採血を重点的に行っていることから、献血者数は減少してはいますが総採血単位数では軽度の減少に留まっています。また、医療機関への総供給単位数は966,528.5単位で前年度に比べ2.5％減少しています。総じて平成27年度も当血液センターでは血液製剤を各医療機関へ不足なく供給できたものと考えております。

血液事業においては、今後の献血可能人口の減少に伴いとりわけ若年層献血者の減少に関する対策が喫緊の課題とされています。平成26年に策定された献血推進調査会の「献血推進2020」では、平成32年までに献血可能人口当たりの献血率を10代7.0％、20代では8.1％までの増加を目標としています。しかし、平成27年度の当血液センターにおける献血率は10代4.1％、20代6.0％とまだまだ十分ではありません。10代の学校献血では献血者の健康不安の解消が重要です。そのため学校側と生徒両者に対する、無償のボランティアからの献血に関する啓発及び採血副作用の説明と軽減のための丁寧な対策が必要と考えています。平成27年度は、将来の献血の理解を得るため小中学生を対象に青少年等献血ふれあい事業を11回実施いたしました。また、高校生、専門学校生、大学生等を対象とした若年者献血セミナーを29回実施し5,340人の参加があり、愛知県学生献血連盟による献血キャンペーンを3回にわたって行いました。今後もこれまで以上に啓発活動に力を注いで参ります。

愛知県の血液事業は、成長期から成熟期へと移行しつつあると思われます。愛知県赤十字血液センターでは、将来にわたる血液製剤の効率的な安定供給のため新たな血液事業計画を検討しております。今後も皆様方の一層のご支援ご協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

平成28年8月
愛知県赤十字血液センター
所長 大西 一功



概要

Outline

事業内容	Main Activities	3
血液事業のながれ	Flow of Blood Services	5
血液のゆくえ	Flow of Blood Products	6
献血状況	Change in Number of Donors	7
供給状況	Supply of Blood Products	8
血液製剤一覧	List of Blood Products	9
広報活動	Public Relations	11

組織

Organization

組織機構図	Organization Chart	13
愛知県赤十字血液センター	Japanese Red Cross Aichi Blood Center	15
愛知県赤十字血液センター豊橋事業所	Japanese Red Cross Aichi Blood Center Toyohashi Branch	17
施設	Facilities	19

活動実績

Actual result

献血功労表彰	Recognition	21
平成27年度日誌	Diary	23
沿革	History	25

全国の血液センター

Blood Centers in Japan

Outline

概要

日本赤十字社の血液事業の一環として
献血を推進し、輸血用血液の安定確保
と供給などを行い、人命尊重に向けて
多様な事業を展開しています。

血液を通して、人と人をつなぐ。

血液センターでは、現代医療に欠かせない輸血用血液の供給をはじめ、
血液に関するさまざまな事業を行っています。
血液を通して大切な命を守り、人と人をつなぐ架け橋として日夜努めています。

事業内容 Main Activities

業 務

日本赤十字社血液センター規則第3条-2により次の事業を行う。

- 1 献血者の確保及び献血の受入れ
- 2 血液製剤の供給
- 3 その他血液事業本部長が必要と認めた事業

以上の事業の他に血液を安定確保し、適時血液需要に対処するため、
次の事業を行う。

- 1 複数回献血協力者確保事業の実施
- 2 献血者登録制度の推進
- 3 献血協賛企業活動推進事業の実施
- 4 Rh（－）友の会事務局
- 5 献血セミナー・施設見学の実施
- 6 献血啓発イベントの実施

関連事業

- ・ 骨髄バンク事業
- ・ さい帯血バンク事業



骨髄バンク事業

骨髄バンク事業は、国（厚生労働省）主導のもと、日本骨髄バンクが
主体となり、日本赤十字社および地方自治体の協力により行われて
いる公的事业です。日本骨髄バンクは骨髄移植・末梢血幹細胞移植の
コーディネート等を行い、日本赤十字社は造血幹細胞提供支援機関として、
ドナー登録及びHLA検査等を行っています。都道府県・保健所を設置する
市・特別区は保健所を窓口として協力体制をとっています。



愛知県の骨髄ドナー登録受付施設

名 称	電話番号	受 付 時 間
愛知県赤十字血液センター	0561-85-2037	月～金（祝日・12/29～1/3を除く） 9:00～11:00、13:30～16:00
愛知県赤十字血液センター豊橋事業所	0532-32-1331	月～土（祝日・12/29～1/3を除く） 9:00～11:00、13:30～16:00
献血ルーム タワーズ20	052-571-1002	年中無休（12/29～1/3を除く） 10:00～17:00
栄献血ルーム	052-242-7030	年中無休（12/29～1/3を除く） 10:00～17:00
金山献血ルーム	052-678-2800	年中無休（12/29～1/3を除く） 10:00～12:00、14:30～17:00
大須万松寺献血ルーム	052-251-7161	年中無休（12/29～1/3を除く） 11:00～12:00、14:30～18:00
豊田献血ルーム	0565-35-4480	水～月（12/29～1/3を除く） 10:00～12:00、14:30～17:00
刈谷献血ルーム	0566-62-1333	土～木（12/29～1/3を除く） 10:00～12:00、14:30～17:00
岡崎献血ルーム	0564-52-1800	土～木（12/29～1/3を除く） 10:00～12:00、14:30～17:00
一宮保健所	0586-72-0321	水 10:00～11:00（予約制） （祝日、12/29～1/3を除く）
春日井保健所	0568-31-2189	火 10:00～15:00（予約制） （祝日、12/29～1/3を除く）
半田保健所	0569-21-3342	水 13:00～15:00（予約制） （祝日、12/29～1/3を除く）
衣浦東部保健所	0566-21-4778	火 9:00～11:00（予約制） （祝日、12/29～1/3を除く）
豊川保健所	0533-86-3177	月 13:00～15:00（予約制） （祝日、12/29～1/3を除く）

- ・ 骨髄提供希望者登録状況
愛知県 19,333人（平成28年3月31日現在）

Outline

安全性の高い血液確保と安定供給に向けて。

善意の献血で得られた血液は、厳しい検査をはじめいつもの行程を経て、輸血用血液として生まれ変わります。
私たちは、人命尊重のためにこの安全性の高い輸血用血液を医療機関に安定供給することを心がけ、24時間体制で医療を支えています。

□ 血液事業のながれ Flow of Blood Services



概要

みなさまの善意に、よりお応えするために。

献血していただいた血液は、輸血用血液【全血・血液成分(赤血球、血漿、血小板)】として医療に使われています。
血液を必要としている患者さんにとって、安全性の高い血液を安定的にお届けするためには、健康なみなさまによる献血のご協力が必要です。

□ 血液のゆくえ Flow of Blood Products



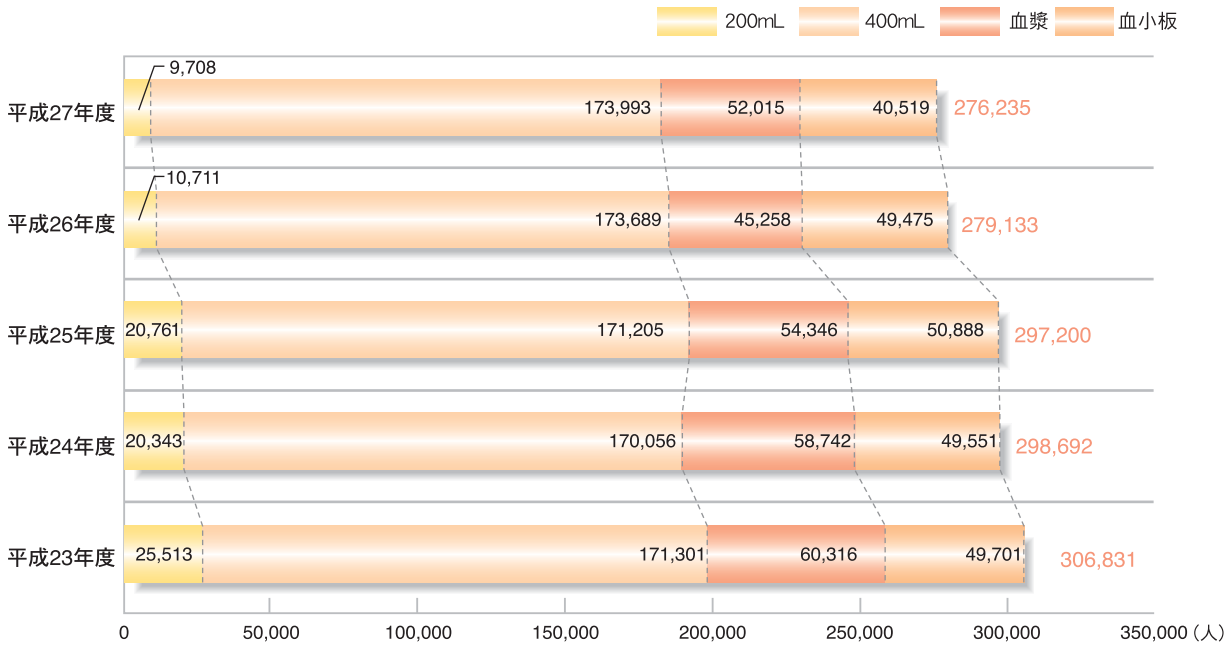
Outline

平成27年度の献血者数は276,235人。

血液センターでは輸血時の副作用軽減のため成分献血・400mL献血を推進しております。

献血状況 Change in Number of Donors

献血者数の推移(愛知県)



(人)

		受付者数	献血者数	前年比	全血献血					成分献血			
					200mL	前年比	400mL	前年比	400mL比率	血 漿	前年比	血小板	前年比
平成27年度	愛知	317,225	276,235	99.0%	9,708	90.6%	173,993	100.2%	94.7%	52,015	114.9%	40,519	81.9%
	全国	5,670,736	4,883,587	97.9%	206,557	69.4%	3,319,448	100.2%	94.1%	581,918	111.4%	775,664	90.4%
平成26年度	愛知	322,768	279,133	93.9%	10,711	51.6%	173,689	101.4%	94.2%	45,258	83.3%	49,475	97.2%
	全国	5,815,407	4,990,460	96.8%	297,505	74.5%	3,312,375	101.4%	91.7%	522,193	84.4%	858,387	98.4%
平成25年度	愛知	353,920	297,200	99.5%	20,761	98.2%	171,205	100.7%	89.2%	54,346	92.5%	50,888	102.7%
	全国	6,071,883	5,156,325	98.2%	399,006	98.2%	3,267,112	99.0%	89.1%	618,427	92.3%	871,780	100.5%
平成24年度	愛知	359,312	298,692	97.3%	20,343	79.7%	170,056	99.3%	89.3%	58,742	97.4%	49,551	99.7%
	全国	6,215,540	5,249,728	100.0%	411,908	98.1%	3,300,080	99.8%	88.9%	670,129	99.5%	867,611	101.9%
平成23年度	愛知	370,305	306,831	99.5%	25,513	86.8%	171,301	97.3%	87.0%	60,316	114.3%	49,701	99.2%
	全国	6,278,416	5,250,866	98.5%	420,076	90.7%	3,305,926	100.0%	88.7%	673,230	93.2%	851,634	101.5%

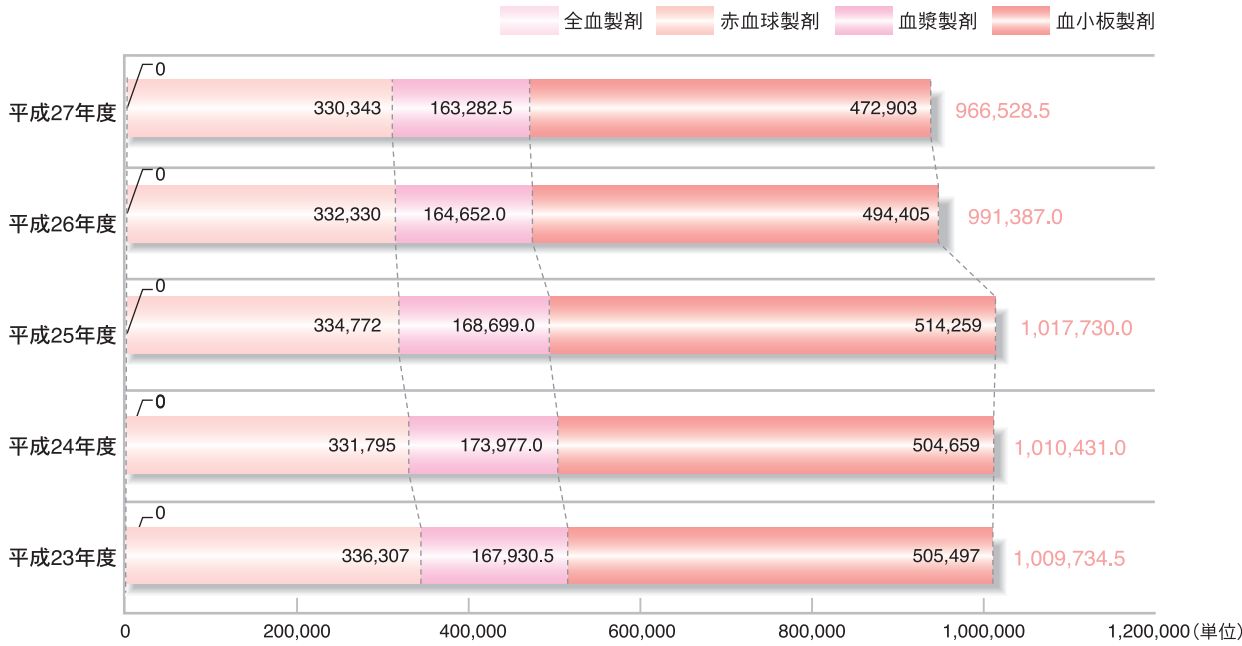
概要

医療機関へは成分製剤の供給が主流。

医療機関では必要な成分だけを輸血に使用するため、成分製剤(赤血球、血漿、血小板)の供給が主流となっています。

供給状況 Supply of Blood Products

供給単位の推移(愛知県)



		計	前年比	全血製剤	前年比	成分製剤					
						赤血球製剤	前年比	血漿製剤	前年比	血小板製剤	前年比
平成27年度	愛知	966,528.5	97.5%	0	0.0%	330,343	99.4%	163,282.5	99.2%	472,903	95.7%
	全国	18,769,248.0	99.9%	137	65.9%	6,465,086	99.7%	3,190,463.0	99.3%	9,113,562	100.3%
平成26年度	愛知	991,387.0	97.4%	0	0.0%	332,330	99.2%	164,652.0	97.6%	494,405	96.1%
	全国	18,790,892.5	99.5%	208	22.6%	6,486,093	99.7%	3,214,476.5	99.5%	9,090,115	99.5%
平成25年度	愛知	1,017,730.0	100.7%	0	0.0%	334,772	100.8%	168,699.0	96.9%	514,259	101.9%
	全国	18,872,216.0	100.1%	919	132.4%	6,505,349	99.5%	3,231,065.0	98.9%	9,134,883	100.9%
平成24年度	愛知	1,010,431.0	100.1%	0	0.0%	331,795	98.7%	173,977.0	103.6%	504,659	99.8%
	全国	18,857,738.5	100.8%	694	91.7%	6,539,271	99.5%	3,267,205.5	99.0%	9,050,568	102.3%
平成23年度	愛知	1,009,734.5	101.2%	0	0.0%	336,307	102.2%	167,930.5	101.1%	505,497	100.7%
	全国	18,716,339.0	101.3%	757	84.4%	6,573,770	100.9%	3,299,035.0	104.0%	8,842,777	100.6%

・他センターへの需給調整本数は含まない。
・単位換算数:赤血球製剤は、200m L 献血由来を1単位、400m L 献血由来を2単位として換算したもの。血漿製剤は、200m L 献血由来を1.5単位、400m L 献血由来を3単位として換算したもの。その他、成分献血由来の製剤については、規格により5単位、10単位、15単位、20単位として換算したもの。

医療機関のニーズに合わせた血液製剤。

血液から作られる血液製剤は、輸血用血液として医療機関のニーズに合わせて、さらに細かく分類され、患者さんの生命を守っています。

血液製剤一覧 List of Blood Products

輸血用血液一覧

規制区分：特定生物由来製品、処方せん医薬品（医師等の処方せんにより使用すること） 採血国「日本」、採血の区別「献血」

	販売名（一般名*1）	略号	効能又は効果	貯法	有効期間	用法及び用量	組成・性状（概要）	包装
全血製剤	人全血液-LR「日赤」*2 Ⓜ(人全血液)	WB-LR	一般の輸血適応症に用いる。	2〜6℃	採血後 21日間	ろ過装置を具備した輸血用器具を用いて、静脈内に必要量を輸注する。	血液保存液（CPD液）を28mL又は56mL混合したヒト血液200mL又は400mLから白血球の大部分を除去した濃赤色の液剤。	血液200mLに由来する血液量1袋
	照射人全血液-LR「日赤」*2 Ⓜ(人全血液)	Ir-WB-LR					血液保存液（CPD液）を28mL又は56mL混合したヒト血液200mL又は400mLから白血球の大部分を除去した濃赤色の液剤。 さらに、輸血によるGVHDを予防する目的で、15Gy以上50Gy以下の放射線が照射されている。	血液400mLに由来する血液量1袋
血液成分製剤	赤血球液-LR「日赤」*2 (人赤血球液)	RBC-LR	血中赤血球不足又はその機能廃絶に適する。	2〜6℃	採血後 21日間	ろ過装置を具備した輸血用器具を用いて、静脈内に必要量を輸注する。	血液保存液（CPD液）を28mL又は56mL混合したヒト血液200mL又は400mLから白血球及び血漿の大部分を除去した赤血球層に赤血球保存用添加液（MAP液）をそれぞれ約46mL、約92mL混和した濃赤色の液剤。	血液200mLに由来する赤血球1袋
	照射赤血球液-LR「日赤」*2 (人赤血球液)	Ir-RBC-LR					血液保存液（CPD液）を28mL又は56mL混合したヒト血液200mL又は400mLから白血球及び血漿の大部分を除去した赤血球層に赤血球保存用添加液（MAP液）をそれぞれ約46mL、約92mL混和した濃赤色の液剤。 さらに、輸血による移植片対宿主病（GVHD：graft versus host disease）を予防する目的で、15Gy以上50Gy以下の放射線が照射されている。	血液400mLに由来する赤血球1袋
	洗浄赤血球液-LR「日赤」*2 (洗浄人赤血球浮遊液)	WRC-LR	貧血症又は血漿成分などによる副作用を避ける場合の輸血に用いる。	2〜6℃	製造後 48時間	ろ過装置を具備した輸血用器具を用いて、静脈内に必要量を輸注する。	ヒト血液200mL又は400mLから白血球及び血漿の大部分を除去した後、生理食塩液で洗浄した赤血球層に、生理食塩液をそれぞれ約45mL、約90mL加えた濃赤色の液剤。	血液200mLに由来する赤血球1袋
	照射洗浄赤血球液-LR「日赤」*2 (洗浄人赤血球浮遊液)	Ir-WRC-LR					ヒト血液200mL又は400mLから白血球及び血漿の大部分を除去した後、生理食塩液で洗浄した赤血球層に、生理食塩液をそれぞれ約45mL、約90mL加えた濃赤色の液剤。 さらに、輸血によるGVHDを予防する目的で、15Gy以上50Gy以下の放射線が照射されている。	血液400mLに由来する赤血球1袋
	解冻赤血球液-LR「日赤」*2 (解冻人赤血球濃厚液)	FTRC-LR	貧血又は赤血球の機能低下に用いる。	2〜6℃	製造後 4日間	ろ過装置を具備した輸血用器具を用いて、静脈内に必要量を輸注する。	ヒト血液200mL又は400mLから白血球及び血漿の大部分を除去した赤血球層に凍害保護液を加えて凍結保存したものを解冻後、凍害保護液を洗浄除去し、赤血球保存用添加液（MAP液）をそれぞれ約46mL、約92mL混和した濃赤色の液剤。	血液200mLに由来する赤血球1袋
	照射解冻赤血球液-LR「日赤」*2 (解冻人赤血球濃厚液)	Ir-FTRC-LR					ヒト血液200mL又は400mLから白血球及び血漿の大部分を除去した赤血球層に凍害保護液を加えて凍結保存したものを解冻後、凍害保護液を洗浄除去し、赤血球保存用添加液（MAP液）をそれぞれ約46mL、約92mL混和した濃赤色の液剤。 さらに、輸血によるGVHDを予防する目的で、15Gy以上50Gy以下の放射線が照射されている。	血液400mLに由来する赤血球1袋
	合成血液-LR「日赤」*2	BET-LR	ABO血液型不適合による新生児溶血性疾患に用いる。	2〜6℃	製造後 48時間	ろ過装置を具備した輸血用器具を用いて、静脈内に必要量を輸注する。	ヒト血液200mL又は400mLから白血球及び血漿の大部分を除去し、洗浄したO型の赤血球層に、白血球の大部分を除去したAB型のヒト血漿を約60mL又は約120mL加えた濃赤色の液剤。	血液200mLに由来する赤血球に血漿約60mLを混和した血液1袋
	照射合成血液-LR「日赤」*2	Ir-BET-LR					ヒト血液200mL又は400mLから白血球及び血漿の大部分を除去し、洗浄したO型の赤血球層に、白血球の大部分を除去したAB型のヒト血漿を約60mL又は約120mL加えた濃赤色の液剤。 さらに、輸血によるGVHDを予防する目的で、15Gy以上50Gy以下の放射線が照射されている。	血液400mLに由来する赤血球に血漿約120mLを混和した血液1袋

	販売名（一般名*1）	略号	効能又は効果	貯法	有効期間	用法及び用量	組成・性状（概要）	包装
血液成分製剤	新鮮凍結血漿-LR「日赤」120*2 (新鮮凍結人血漿) 全血採血由来製剤	FFP-LR120	1.血液凝固因子の補充 (1)複合性凝固障害で、出血、出血傾向のある患者又は手術を行う患者 (2)血液凝固因子の減少症又は欠乏症における出血時で、特定の血液凝固因子製剤がないか又は血液凝固因子が特定できない場合	-20℃	採血後 1年間	容器のまま30～37℃で融解し、融解後3時間以内にろ過装置を具備した輸血用器具を用いて、静脈内に必要量を輸注する。通常、使用量は1日200～400mL、重篤(ショック敗血症など)の場合は800mLまでを基準とする。ただし、年齢及び症状に応じて適宜増減する。	血液保存液（CPD液）を28mL又は56mL混合したヒト血液200mL又は400mLから白血球の大部分を除去し分離した新鮮な血漿を凍結したもので、融解すると黄色ないし黄褐色の液剤。	血液200mL相当に由来する血漿1袋
	新鮮凍結血漿-LR「日赤」240*2 (新鮮凍結人血漿) 全血採血由来製剤	FFP-LR240					血液成分採血により白血球の大部分を除去して採取した新鮮な血漿を凍結したもので、融解すると黄色ないし黄褐色の液剤。	血液400mL相当に由来する血漿1袋
	新鮮凍結血漿-LR「日赤」480*2 (新鮮凍結人血漿) 成分採血由来製剤	FFP-LR-480						480mL 1袋
	濃厚血小板-LR「日赤」*2 (人血小板濃厚液)	PC-LR	血小板減少症を伴う疾患に適応する。	20～24℃ 要・振とう	採血後 4日間	ろ過装置を具備した輸血用器具を用いて、静脈内に必要量を輸注する。	血漿に浮遊した血小板で、血液成分採血により白血球の大部分を除去して採取した黄色ないし黄褐色の液剤。	1単位 約 20mL 1袋 2単位 約 40mL 1袋 5単位 約100mL 1袋
	照射濃厚血小板-LR「日赤」*2 (人血小板濃厚液)	Ir-PC-LR					血漿に浮遊した血小板で、血液成分採血により白血球の大部分を除去して採取した黄色ないし黄褐色の液剤。 さらに、輸血によるGVHDを予防する目的で、15Gy以上50Gy以下の放射線が照射されている。	10単位 約200mL 1袋 15単位 約250mL 1袋 20単位 約250mL 1袋
	濃厚血小板HLA-LR「日赤」*2 (人血小板濃厚液)	PC-HLA-LR	血小板減少症を伴う疾患で、抗HLA抗体を有するため通常の血小板製剤では効果がみられない場合に適応する。	20～24℃ 要・振とう	採血後 4日間	ろ過装置を具備した輸血用器具を用いて、静脈内に必要量を輸注する。	血漿に浮遊した血小板で、患者のHLA型に適合する(供血者のリンパ球と患者の血清との交差試験に適合する)献血者から血液成分採血により白血球の大部分を除去して採取した黄色ないし黄褐色の液剤。	10単位 約200mL1袋 15単位 約250mL1袋
	照射濃厚血小板HLA-LR「日赤」*2 (人血小板濃厚液)	Ir-PC-HLA-LR					血漿に浮遊した血小板で、患者のHLA型に適合する(供血者のリンパ球と患者の血清との交差試験に適合する)献血者から血液成分採血により白血球の大部分を除去して採取した黄色ないし黄褐色の液剤。 さらに、輸血によるGVHDを予防する目的で、15Gy以上50Gy以下の放射線が照射されている。	20単位 約250mL1袋

*1:人全血液の一般名は日本薬局方及び生物学的製剤基準収載名、それ以外の製剤の一般名は生物学的製剤基準収載名
*2:薬価基準収載名

Outline

ひとりでも多くの方に、献血が身近になるように。

血液センターでは、広く献血にご協力いただくことと、血液事業について多くの人にご理解いただくことを目的に、さまざまな広報活動を展開しています。

□ 広報活動 Public Relations

ホームページの開設

血液センターのさまざまな情報を、ホームページを利用してお知らせしています。献血会場のご案内をはじめ、キャンペーンのお知らせや血液についての知識など、充実した内容で情報発信を行っています。

携帯電話、スマートフォンからもアクセスが可能で、手軽に知りたい情報をいつでも入手できます。ぜひ一度ご覧ください。

■ ホームページアドレス
<http://www.aichi.bc.jrc.or.jp/>

フェイスブックの開設

フェイスブックを利用して、キャンペーンやイベントのお知らせをはじめ、献血に関する様々な情報を積極的かつリアルタイムにお伝えします。

■ 公式ページアドレス
<https://www.facebook.com/aichi.kenketsu>



キャンペーンイベントの開催

歌や演奏、クイズなど楽しいステージイベントを通して広く皆様に対して、献血の普及啓発を行っています。献血者が減少する時期にあわせて、年に数回開催。学生ボランティアが中心となって運営を行い、献血を盛り上げます。



概要

夏休み親子血液教室

愛知県との共催で「親子で学ぶ 夏休み親子教室」を開催しています。血液についての講義や血液センターの見学、希望者を対象に血液型の判定を行います。親子でいのちや健康の大切さ、助け合いの大切さについて考える内容となっています。



血液センター見学会

献血に対する知識と理解を深めていただきたいことから、血液センター内の見学会を実施しています。

この見学会では、実際に製剤や検査の様子を見ていただいて、献血された血液が輸血用血液に至るまでの工程を、わかりやすく説明しています。

毎年、多くの方がご来訪され、好評をいただいています。

見学会は予約が必要です。

お問い合わせ・お申込みは、企画課までお尋ねください。



血液・献血セミナー

小学校から大学、専門学校までの生徒・学生の皆様に献血のことを知ってもらい、身近に感じてもらうため、職員を派遣して「血液・献血セミナー」を行っています。講義やDVD鑑賞で、血液のこと、献血のことを学んでいただくとともに、いのちの大切さ、助け合うことの大切さを考える内容となっています。



お問い合わせ・お申込みは、企画課までお尋ねください。

■ 愛知県赤十字血液センター企画課
TEL 0561-85-4283(直通)

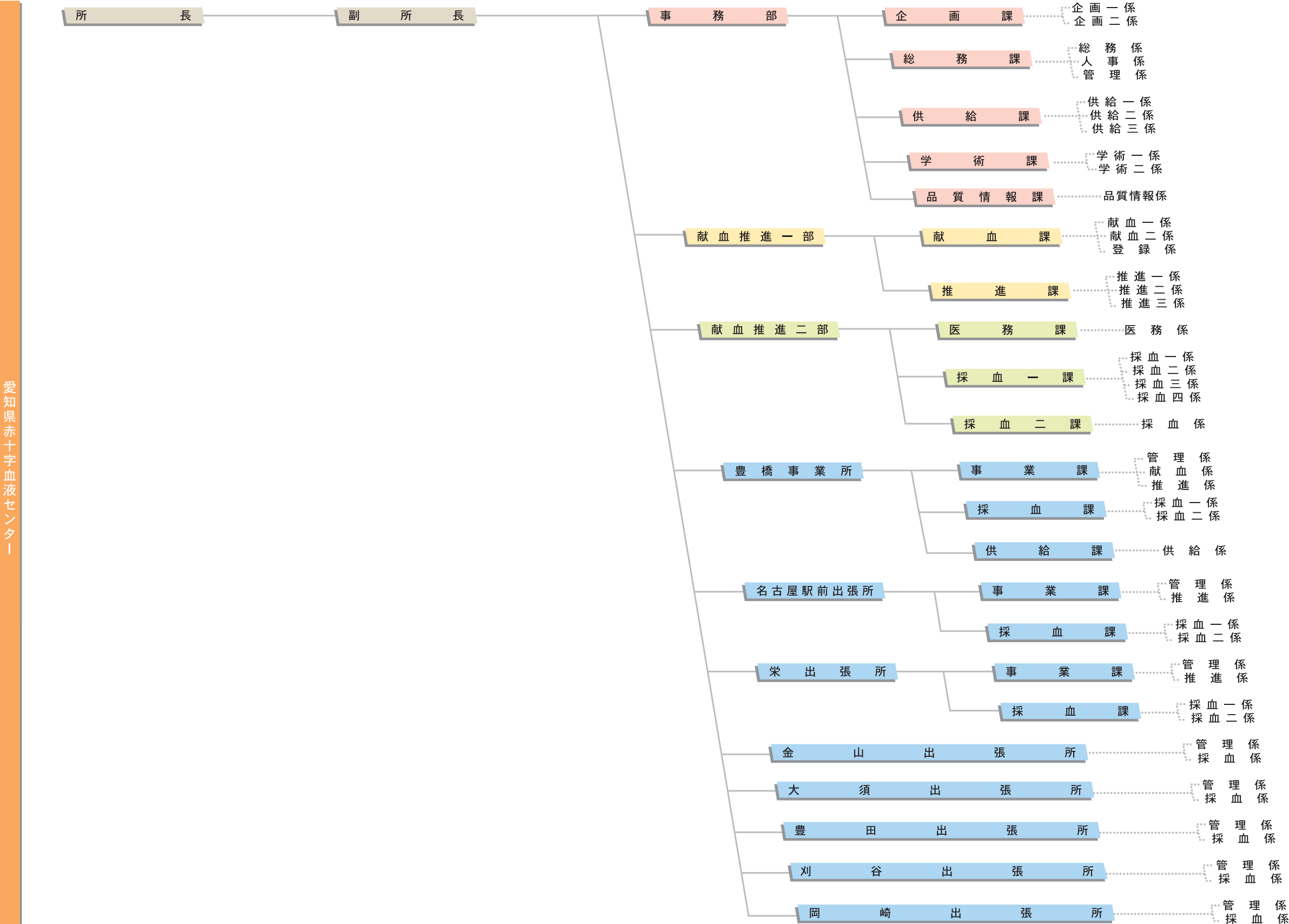
Organization

組 織

血液事業をより円滑に推進するためには、その体制づくりが重要なポイントになります。血液事業に直接関係する体制や施設・設備を充実するとともに、それをサポートする間接部門も重要視し、組織としての総合的な力を発揮しながら血液事業の現在と将来を常に見つめています。

組織機構図 Organization Chart

(平成28年3月31日現在)



愛知県赤十字血液センター

Organization

□ 愛知県赤十字血液センター Japanese Red Cross Aichi Blood Center

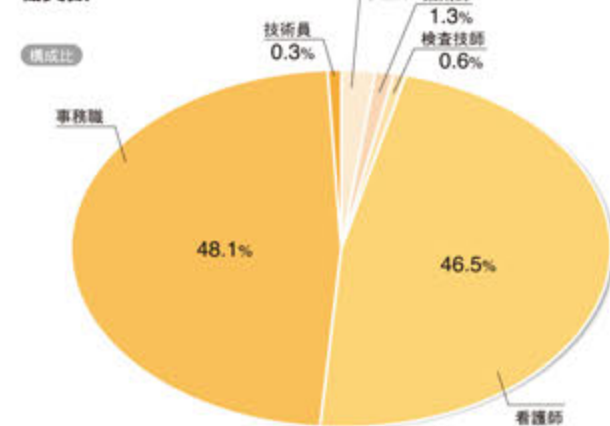
(平成28年3月31日現在)

施設 Facility



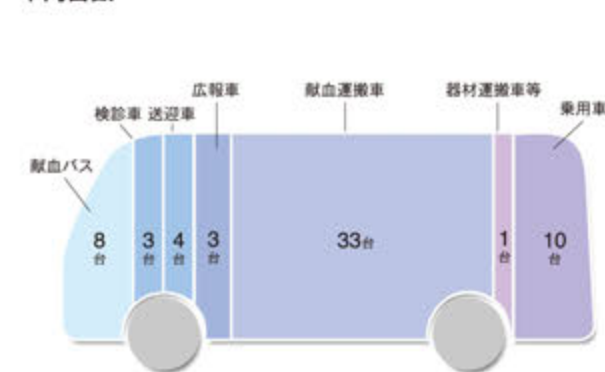
- 所在地 瀬戸市南山口町539番地3
- 敷地面積 63,594.57m²
- 建物 (本館・北館)構造/鉄筋コンクリート一部鉄骨造地上4階・塔屋1階
延面積/9,783.21m²
- 付属建物 大型車庫、合併処理槽機械室

職員数 Number of Staff



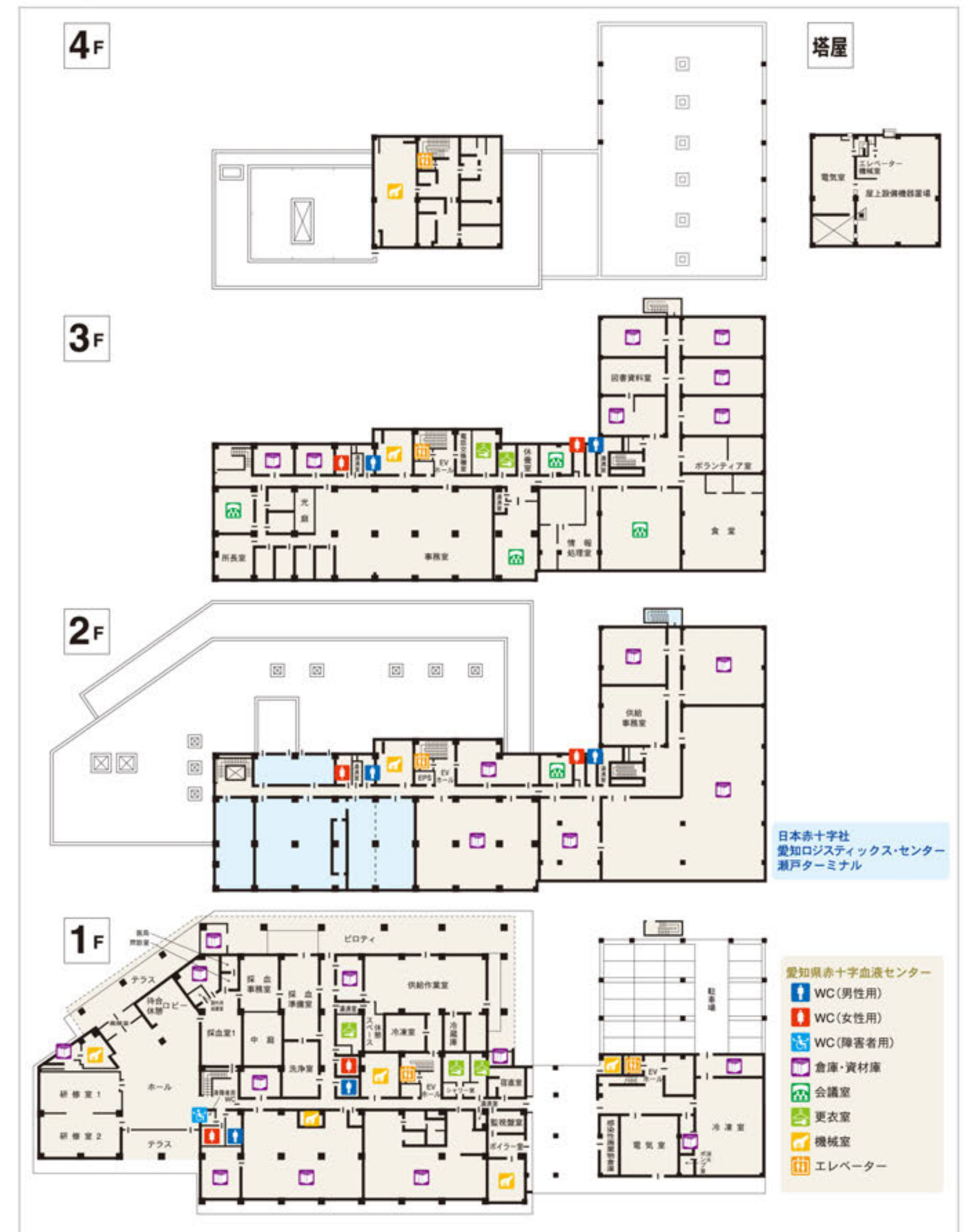
職種	医師	薬剤師	検査技師	看護師	事務職	技術員	計
人員	10	4	2	144	149	1	310
構成比 < % >	3.2	1.3	0.6	46.5	48.1	0.3	100

車両台数 Number of Vehicle



車両種別	献血バス	検診車	送迎車	広報車	献血運搬車	器材運搬車等	乗用車	計
台数	8	3	4	3	33	1	10	62

フロアー図 Floor Plan



Organization

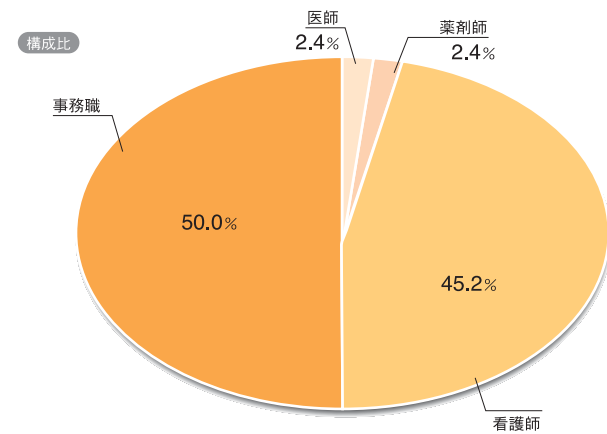
愛知県赤十字血液センター 豊橋事業所 Japanese Red Cross Aichi Blood Center Toyohashi Branch (平成28年3月31日現在)

施設 Facility

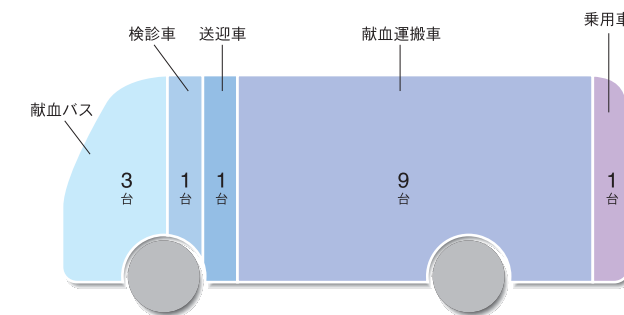


- 所在地 豊橋市東脇三丁目4番地1
- 敷地面積 3,014.07m²
- 建物 構造／鉄筋コンクリート造地上3階・塔屋1階
延面積／1,694.00m²
- 附属建物 車庫

職員数 Number of Staff



車両台数 Number of Vehicle



献血バス	検診車	送迎車	献血運搬車	乗用車	計
3	1	1	9	1	15

フロアー図 Floor Plan



Organization

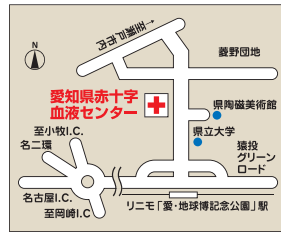
献血はお近くの施設で気軽に。

愛知県下には血液センターをはじめ豊橋事業所並びに7カ所の献血ルームがあります。どの施設も交通アクセス、周辺環境に恵まれています。献血はあなたの街の最寄りの施設へお気軽にお出かけ下さい。

施設 Facilities

愛知県赤十字血液センター

〒489-8555 瀬戸市南山口町539-3
 〈TEL〉0561(84)1131 〈定休日〉毎週土曜日、日曜日、祝日、12/29～1/3
 〈献血受付時間〉400mL・200mL献血・・・9:00～12:00、13:00～16:45
 成分献血・・・9:00～11:00、13:00～16:00



栄献血ルーム
 (栄出張所)

大須万松寺献血ルーム
 (大須出張所)

献血ルーム Towers 20
 (名古屋駅前出張所)

金山献血ルーム
 (金山出張所)

刈谷献血ルーム
 (刈谷出張所)

愛知県赤十字血液センター

豊田献血ルーム
 (豊田出張所)

岡崎献血ルーム
 (岡崎出張所)

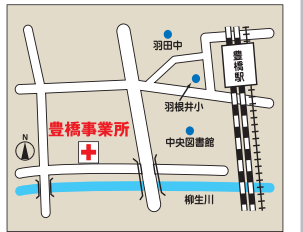
愛知県赤十字血液センター 豊橋事業所

愛知県

管内面積／5,164.02km² (愛知県統計年鑑H25.10.1 現在)
 管内人口／7,490,788人 (愛知県人口動向調査 H28.3.1 現在)
 市町村数／38市14町2村 (H28.3.31 現在)

愛知県赤十字血液センター 豊橋事業所

〒441-8083 豊橋市東脇3-4-1
 〈TEL〉0532(32)1331 〈定休日〉毎週日曜日、祝日、12/29～1/3
 〈献血受付時間〉400mL・200mL献血・・・9:00～12:00、13:00～16:45
 成分献血・・・9:00～11:00、13:00～16:00



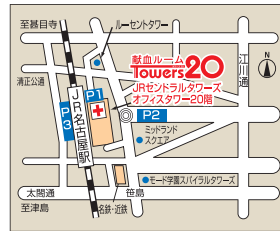
栄献血ルーム

〒460-0008 名古屋市中区栄3-15-33 栄ガスビル9F
 〈TEL〉052(242)7030 〈定休日〉12/29～1/3
 〈献血受付時間〉400mL・200mL献血・・・10:00～17:45
 成分献血・・・10:00～17:00
 ※土曜日は16:00までとなります。



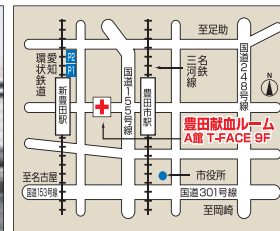
献血ルーム Towers 20

〒450-6020 名古屋市中村区名駅一丁目1番4号 JRセントラル Towers 20階
 〈TEL〉052(571)1002 〈定休日〉12/29～1/3
 〈献血受付時間〉400mL・200mL献血・・・10:00～17:45
 成分献血・・・10:00～17:00
 ※土曜日は16:00までとなります。



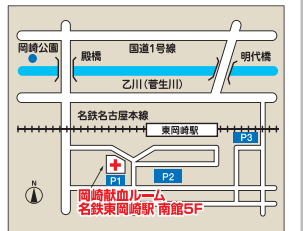
豊田献血ルーム

〒471-8520 豊田市若宮町1-57-1 A館 T-FACE 9F
 〈TEL〉0565(35)4480 〈定休日〉毎週火曜日、12/29～1/3
 〈献血受付時間〉400mL・200mL献血・・・10:00～13:00、14:00～17:45
 成分献血・・・10:00～12:00、14:00～17:00
 ※土曜日は16:00までとなります。



岡崎献血ルーム

〒444-0864 岡崎市明大寺町寺東1-1 名鉄東岡崎駅南館 5F
 〈TEL〉0564(52)1800 〈定休日〉毎週金曜日、12/29～1/3
 〈献血受付時間〉400mL・200mL献血・・・10:00～13:00、14:00～17:45
 成分献血・・・10:00～12:00、14:00～17:00
 ※土曜日は16:00までとなります。



金山献血ルーム

〒456-0002 名古屋市中区金山町1-202 メガネプラザビル7F
 〈TEL〉052(678)2800 〈定休日〉12/29～1/3
 〈献血受付時間〉400mL・200mL献血・・・10:00～13:00、14:00～17:45
 成分献血・・・10:00～12:00、14:00～17:00
 ※土曜日は16:00までとなります。



北側出入口をご利用下さい。

大須万松寺献血ルーム

〒460-0011 名古屋市中区大須3-30-40 万松寺ビル1F
 〈TEL〉052(251)7161 〈定休日〉12/29～1/3
 〈献血受付時間〉400mL・200mL献血・・・11:00～13:00、14:00～18:45
 11:00～18:45(土・日・祝日)
 成分献血(平日のみ)・・・11:00～12:00、14:00～18:00



刈谷献血ルーム

〒448-0841 刈谷市南桜町1-73 OTAビル4F
 〈TEL〉0566(62)1333 〈定休日〉毎週金曜日、12/29～1/3
 〈献血受付時間〉400mL・200mL献血・・・10:00～13:00、14:00～17:45
 成分献血・・・10:00～12:00、14:00～17:00
 ※土曜日は16:00までとなります。



Actual result

活動実績

時代の変化とともに、血液事業も変化しています。献血協力や医療機関のニーズに対応した活動を展開し、新しい歴史を積み重ねています。

血液事業に多くの功績があった個人・団体を表彰。

毎年献血に多大なご協力をいただいた皆様に感謝の気持ちを込めて表彰を行っています。平成27年度も多くの個人・団体の皆様にご協力いただき功労表彰を授与させていただきました。血液事業は、こうした多くの方々に支えられています。

献血功労表彰 Recognition

厚生労働大臣表彰状	
	4団体
天理教愛知教区三河献血会	
小島プレス労働組合	
エナジーサポート株式会社	
日立住友重機械建機クレーン株式会社 名古屋工場	

厚生労働大臣感謝状	
	11団体
名鉄自動車整備株式会社	
株式会社三ツ知春日井	
新東工業株式会社 大崎事業所	
フタバ産業株式会社 緑工場	
中央精機株式会社	
安城中央ライオンズクラブ	
西尾ライオンズクラブ	
西尾東ライオンズクラブ	
東洋紡株式会社犬山工場	
日本特殊塗料株式会社愛知工場	
ミヤマ精工株式会社	

愛知県知事感謝状	
○300回献血者	29名
○献血功労者	1名
○献血協力団体	26団体
株式会社三洋物産	
天理教愛知教区千種区支部	
中部電力労働組合 中営業所支部	
中部電力労働組合 中電力センター支部	
天理教愛知教区瑞穂区支部	
株式会社日立産機システム中部支部	
天理教愛知教区中川区支部	
医療法人 資生会 八事病院	
ハートの日実行委員会	
アイシン精機株式会社 新豊工場	
株式会社ジーエスエレテック	
中部電力労働組合 豊田電力センター支部	
オムロンミュージメント株式会社	
社会医療法人 大雄会	
株式会社日立アイイーシステム	
三菱電機株式会社 稲沢製作所	
オムロンオートモーティブエレクトロニクス株式会社	
株式会社日本アクセス中部オフィス	
アイシン精機株式会社	
中部電力労働組合 刈谷電力所支部	

NOKグループユニオン中部支部	
株式会社三五	
株式会社中村精機音羽製作所	
株式会社シーヴィテック	
株式会社 ジャパンディスブレイ 東浦工場	
愛知県厚生農業協同組合連合会安城更生病院	

○献血功労団体	8団体
天理教愛知教区北区支部	
イオンモール株式会社イオン春日井ショッピングセンター	
株式会社バロー 春日井西店	
イオンリテール株式会社イオン小牧店	
イオンモール扶桑	
株式会社げんきの郷	
愛知グレースライオンズクラブ	
有限会社 加藤新聞店	

日本赤十字社表彰	
○日本赤十字社社長感謝状（30年以上）	25団体
ブラザー工業労働組合	
愛知県豊橋警察署	
NTT労働組合 東海総支部 三河分会	
中部電力労働組合 豊橋営業所支部	
中部電力労働組合 豊橋電力センター支部	
愛知県岡崎警察署	
岡崎竜城ライオンズクラブ	
日新製鋼株式会社 衣浦製造所	
安城中央ライオンズクラブ	
中部精機株式会社	
日医工株式会社 愛知工場	
日本特殊塗料株式会社 愛知工場	
株式会社イノアックコーポレーション 安城事業所	
株式会社UAC.J押出加工名古屋 安城製作所	
倉敷紡績株式会社 安城工場	
デンソー献血会（西尾製作所）	
株式会社ニデック	
蒲郡ライオンズクラブ	
江南市職員献血グループ	
江南市水道工事店協同組合	
サンハウス食品株式会社	
日本メナード化粧品株式会社 稲沢工場	
東レ労働組合 東海支部	
田原ライオンズクラブ	
トヨタ自動車株式会社 田原工場	

○金色有功章（献血100回以上）	289名
○金色有功章（20年以上）	44団体
天理教愛知教区西区支部	
新日本法規ABOの会	
東芝コンシューママーケティング株式会社 中部支社	
中央発條株式会社 本社工場	
アスモ株式会社 豊橋工場	
学校法人 藤ノ花学園 豊橋創造大学	
中部ガス株式会社 豊橋支店・豊橋供給センター	
武蔵精密工業株式会社 第一明海工場	
愛知県医薬品配置協議会 西三河支部	
アンデン株式会社 岡崎工場	
天理教愛知教区尾西支部	
豊田合成株式会社 尾西工場	
河村電器産業株式会社	
豊精密工業株式会社	
天理教愛知教区東知多支部	
コニカミノルタ株式会社 豊川サイト	
マルヤス工業株式会社 御津工場	
天理教愛知教区海部津支部	
愛知県豊田警察署	
株式会社オティックス高岡	
株式会社イナテック	
愛知県蒲郡警察署	
天理教愛知教区西知多支部	
天理教愛知教区尾北支部	
株式会社足立ライト工業所	
中部電力労働組合 小牧営業所支部	
東罐興業株式会社 小牧工場	
マルマテクニカ株式会社 名古屋事業所	
豊田合成株式会社 稲沢工場	
オーエスジー株式会社 八名工場	
公明党 東海支部	
アスタック株式会社	
株式会社 槌屋 知立工場	
独立行政法人労働者健康福祉機構 旭労災病院	
石塚硝子株式会社	
フタバ産業株式会社 田原工場	
豊田合成株式会社 本社	
豊田合成株式会社 春日工場	
天理教愛知教区尾東支部	
天理教愛知教区瀬戸支部	
医療法人医仁会 さくら総合病院	
豊橋ちぎりライオンズクラブ	

岡崎南ライオンズクラブ	
蒲郡マリンライオンズクラブ	
○銀色有功章（献血70回以上）	459名
○銀色有功章（15年以上）	19団体
株式会社ジェイテクト 豊橋工場	
潮干会	
天理教愛知教区春日井支部	
オーエスジー株式会社 R&Dセンター	
新東工業株式会社 一宮事業所	
愛知県刈谷警察署	
天理教愛知教区東西加茂支部	
デンソー献血会（安城製作所）	
デンソー献血会（高棚製作所）	
極東開発工業株式会社 名古屋工場	
豊田合成株式会社 北島技術センター	
豊田合成株式会社 西溝口工場	
豊田合成株式会社 平和町工場	
知多市つつじが丘コミュニティ	
東海興業精機株式会社	
中部電力労働組合 名古屋総支部 岩倉電力センター支部	
愛知県立三好特別支援学校	
東海カーボン株式会社 知多工場	
刈谷ライオンズクラブ	

○支部長感謝状（銀枠 5年以上）	16団体
株式会社セントラル コンコルドグループ	
パナソニックコンシューマーマーケティング株式会社	
トヨタホーム名古屋株式会社	
一宮土木協同組合	
豊田合成株式会社 瀬戸工場	
アイシン精機株式会社 半田電子工場	
株式会社 ISOWA	
サトープレス工業株式会社	
愛知県トラック協会尾東支部青年部会	
布目電機株式会社	
豊田合成株式会社 美和技術センター	
株式会社ティラド	
イオンモール株式会社 mozoワンダーシティ	
名古屋シニアライオンズクラブ	
ユニー株式会社 リーフウォーク稲沢	
リソラ大府ショッピングテラス	

○支部長感謝状（金枠 10年以上）	14団体
岡崎信用金庫 上前津支店 他名古屋市内17店舗	
一宮市指定水道工事店協同組合青年部	
株式会社中京医薬品	
河原紙器株式会社	
株式会社三河機工	
大和ハウス工業株式会社 愛知北支店	
株式会社ジェイテクト 田戸岬工場	
株式会社キクテック	
株式会社ジャパンディスブレイ	
名古屋クオリティライオンズクラブ	
中日新聞緑支部青年会	
株式会社三河屋	
フィール稲沢店	
ユニー株式会社 ピアゴ八剣店	

（順不同・敬称略）

Actual result

幅広い活動で献血協力を呼びかける。

平成27年度に行った主な活動内容です。
献血協力を呼びかけるキャンペーン活動から血液事業を啓発する活動まで幅広く展開し、血液の確保に向けて広く呼びかけを行いました。

□ 平成27年度日誌 Diary



Actual result

新たな歴史を積み重ねて着実な歩み続ける。

昭和37年の開設以来、輸血を必要とする患者さんのため
時代とともに、着実な歩みを続けています。

沿革History

	愛知の動き	全国の動き
1960	昭和37.10 名古屋第一赤十字病院内に愛知県赤十字血液銀行を開設 昭和39.12 愛知県赤十字血液センターと名称を改める 昭和41. 6 採血出張所を開設(豊橋・岡崎・一宮・半田・瀬戸) 昭和43. 1 東海北陸7県(富山県・石川県・福井県・長野県・岐阜県・愛知県・三重県)の調整センターとして保存血液の需給調整を開始 昭和43.11 豊橋採血出張所を廃止し、愛知県赤十字血液センターの支所として新社屋を建設(豊橋市橋良町)、愛知県豊橋赤十字血液センターを開設、業務開始 昭和44. 8 愛知県Rh(一)友の会を結成	昭和27.4 日本赤十字社血液銀行東京業務所開設 昭和31.6 「採血及び供血あっせん業取締法」公布 昭和35.8 「薬事法」公布 昭和39.8 「献血の推進について」閣議決定 昭和44 民間商業血液銀行の買血による輸血用血液の供給中止
1970	昭和45. 4 血液低比重者の諸検査開始 昭和46. 3 日赤愛知県支部との合同庁舎(名古屋市中区三の丸)に移転、業務開始 昭和46. 4 支所として運営されてきた愛知県豊橋赤十字血液センターが豊橋赤十字血液センターとして独立 昭和47. 3 県内の預血業務が全廃され献血一本化となる 昭和48. 4 名古屋市内及び尾張部について輸血用血液の直配開始 昭和49. 4 血液代金自己負担金給付制度実施 昭和52. 4 一宮出張所を廃止し、移動採血車の定期巡回場所に改める 昭和54. 4 採血が瓶採血からビニールバック採血に切替る 昭和54.11 開設以来、献血者150万人達成	昭和49 民間商業血液銀行が預血制度廃止(献血100％体制確立) 昭和50 日本民間放送連盟主催「第1回はたちの献血」キャンペーン開始
1980	昭和57. 2 分室を中区丸の内三丁目5番地10号住友商事丸ノ内ビル9階に新設 昭和57. 4 全国一斉に献血手帳の様式一部改正(供給欄削除) 献血者全員に血液型及び生化学検査結果の通知を開始 昭和57. 6 半田出張所を廃止し、移動採血車の定期巡回場所に改める 昭和59. 4 東海北陸7県(富山県・石川県・福井県・長野県・岐阜県・静岡県・愛知県)の基幹センターとして輸血用血液の需給調整及び技術指導開始 昭和61. 3 事務所棟増築完成(豊橋赤十字血液センター) 昭和61. 4 名古屋市中区錦三丁目22番14号(マルニシビル5階)に栄出張所(献血ルーム)を開設 愛知県学生献血連盟発足 昭和61.10 東三河地域に血小板等の特殊血液のみ直配実施 昭和62. 1 名古屋市熱田区一番に白鳥出張所(献血車基地)を開設 昭和62. 3 瀬戸市南山口町に社屋新築移転、業務開始(愛知県赤十字血液センター) 昭和62. 4 名古屋市中区三の丸旧社屋に三の丸出張所(献血ルーム)を開設 昭和62. 8 西三河部への輸血用血液の直配開始 昭和62. 9 第11回日本血液事業学会総会を愛知県勤労会館で開催 昭和63. 7 輸血用血液の全面直配開始(豊橋赤十字血液センター) 昭和63.10 名古屋市千種区星が丘元町1502番地(第一星ヶ丘ビル2階)に星ヶ丘出張所(献血ルーム)を開設 平成 1. 1 愛知県内の献血者延500万人達成	昭和58.6 日本赤十字社血漿分画事業開始 昭和61.4 「採血及び供血あっせん業取締法」一部改正に伴う新採血基準採用(400mL、成分採血導入) 昭和61 HIV抗体検査及びHTLV－I抗体検査を開始 平成1 HbC抗体、HCV抗体検査開始
1990	平成 2. 3 豊橋市東脇に社屋新築移転、業務開始(豊橋赤十字血液センター) 平成 2. 6 名古屋市中区栄三丁目15番地33号(栄ガスビル9階)に栄出張所(献血ルーム)を移転開設 平成 3. 3 岡崎市康生通西2丁目20番地(シビコ5階)に岡崎出張所(献血ルーム)を開設 平成 3.12 血液センター組織に地方骨髓データセンター設置 平成 4. 6 名古屋市中村区名駅四丁目26番地7号(名駅ＵＦビル5階)に名古屋駅前出張所(献血ルーム)を開設 平成 4.11 赤血球M・A・P「日赤」の調整供給開始(愛知県赤十字血液センター) 平成 5. 4 赤血球M・A・P「日赤」の調整供給開始(豊橋赤十字血液センター) 平成 5.10 三の丸出張所を名古屋市東区白壁一丁目50番地(愛知県白壁庁舎内)に白壁出張所(献血ルーム)として移転開設	平成2 民間製薬会社による有償採漿中止 平成 4. 1 赤血球M・A・P「日赤」の製造承認許可 平成 5. 8 「自己輸血協力要綱」作成 平成 7. 4 献血表彰制度の一部改正と献血換算回数変更 平成 7. 7 統一した献血申込書及び問診票導入

	愛知の動き	全国の動き
1990	平成 6. 1 自己輸血協力開始 平成 6. 3 愛知県内血液センター需給計画委員会設置 平成 6. 4 輸血用血液への放射線照射協力開始(愛知県赤十字血液センター) 平成 6. 9 輸血用血液への放射線照射協力開始(豊橋赤十字血液センター) 平成 7. 3 第43回日本輸血学会総会を名古屋国際会議場で開催 平成 8.10 白壁出張所の検査部門を愛知県赤十字血液センターに集約 平成 9. 4 東海北陸8県(富山県・石川県・福井県・長野県・岐阜県・静岡県・愛知県・三重県)の基幹センターとして、輸血用血液の需給調整及び技術指導開始 豊田市若宮町一丁目57番地1(A館 T－F A C E 9階)に豊田出張所(献血ルーム)を開設 平成 9. 7 白壁出張所の供給部門を愛知県赤十字血液センターに集約 平成 9.10 白壁出張所の製造部門を愛知県赤十字血液センターに集約 平成11. 4 県内血液センター―体運営開始、これに伴い、豊橋赤十字血液センターを愛知県豊橋赤十字血液センターに改称し、検査業務を愛知センターに集約 刈谷市南桜町一丁目73番地(O T A ビル4階)に刈谷出張所(献血ルーム)を開設 平成11. 8 名古屋市熱田区金山町1ー202(東和ビル(メガネプラザビル)7階)に金山出張所(献血ルーム)を開設 平成11.11 愛知県赤十字血液センター北館完成	平成10. 6 放射線照射輸血用血液が国に認可され供給開始 平成11. 4 血小板成分献血を除き、献血年齢の上限が満64歳から満69歳に引上げ 平成11. 5 献血者情報の全国一元管理システムが稼働 平成11.10 HTLV－I抗体検査結果が異常な場合、希望者への通知を開始。これに伴い献血申込書の内容一部変更 核酸増幅検査(NAT)実施の輸血用血液を供給開始 平成14. 4 HCV抗体陽性者への通知基準の変更 平成14. 7 薬事法及び採血及び供血あっせん業取締法の一部を改正する法律の公布 「安全な血液製剤の安定供給の確保等に関する法律」(新血液法)公布 平成14. 8 有償採血の禁止 平成15. 7 「薬事法」の一部改正及び「安全な血液製剤の安定供給の確保等に関する法律」(新血液法)施行 平成16. 1 安全対策に対する日本赤十字社の取組み(8項目) 平成16.10 献血受付時の本人確認実施開始 日本赤十字社血液事業本部設置 平成17. 4 改正薬事法施行 平成17. 6 問診による欧州渡航歴の献血制限開始 平成17. 7 6ヵ月以上貯留保管した新鮮凍結血漿「日赤」(F F P)の供給開始 平成18. 3 タッチパネル方式による問診回答方式の導入 成分採血由来新鮮凍結血漿保存前白血球除去製剤製造開始 平成18. 8 人免疫グロブリン製剤「日赤ポリグロビン」販売開始 平成18. 9 成分採血由来新鮮凍結血漿保存前白血球除去製剤出庫開始 平成18.10 献血手帳の磁気カード化開始 平成19. 1 全血採血由来保存前白血球除去製剤製造開始 平成19. 8 全血採血由来保存前白血球除去血漿製剤供給開始 平成19.11 血小板製剤の有効期間(採血後4日間)変更 平成20. 7 初流血除去を実施した成分採血由来製剤新鮮凍結血漿「日赤」(FFP-5)の供給開始 平成21. 3 糖尿病関連の検査(グリコアルブミン検査)開始 平成21.10 血漿分画製剤の販売名、包装表示等の変更 平成22. 1 英国滞在歴に関する献血制限の緩和 平成22. 2 販売名変更代替新規承認品目濃厚血小板-LR「日赤」・濃厚血小板HLA-LR「日赤」・照射濃厚血小板-LR「日赤」・照射濃厚血小板HLA-LR「日赤」の製造・供給開始。 新鮮凍結血漿-LR「日赤」の製造開始。 血液型・生化学検査及び血球計数検査成績の通知対象者の拡充 平成23. 4 採血基準の改正(男性に限り400mL献血が可能な方の年齢の下限を、「18歳」から「17歳」に引き下げ。 男性に限り血小板成分献血が可能な方の年齢の上限を、「54歳」から「69歳」に引き上げ。 平成26. 6 血液事業情報システム導入 平成26. 8 特殊製剤国内自給向上対策事業の実施 個別核酸増幅検査(NAT)の導入
2000	平成12. 3 愛知県赤十字血液センター本館増改築工事完成 平成13. 2 名古屋市中村区名駅三丁目28番地12号(大名古屋ビルヂング3階)に名古屋駅前出張所(大名古屋ビル献血ルーム)を移転開設 平成13. 9 第25回日本血液事業学会総会を名古屋国際会議場で開催 平成15. 2 愛知県内の献血者延1,000万人達成 平成15. 3 星ヶ丘出張所(献血ルーム)閉所 平成15. 5 岡崎市明大寺町字寺東1ー1(名鉄東岡崎駅南館5階)に岡崎出張所(献血ルーム)を移転開設 平成16. 6 第二次全国統一システム稼働 平成17. 1 新鮮凍結血漿貯留保管用冷凍室完成 平成17. 6 愛知県赤十字血液センター献血推進本部設置 平成17.10 白鳥出張所(献血バス基地)を閉所し、愛知県赤十字血液センターに移動採血部門を集約 愛知県豊橋赤十字血液センターの製造部門を愛知県赤十字血液センターに集約 平成18. 3 複数回献血クラブ「四季桜の会」の設立 平成18. 9 白壁出張所(献血ルーム)の閉所 平成18.10 名古屋市中区大須三丁目30-40(大須万松寺ビル1階)に大須出張所(献血ルーム)を開設 岐阜県赤十字血液センターとの検査業務集約 成分採血(血小板)の初流血除去開始 平成19. 2 全血採血の初流血除去開始 静岡県赤十字血液センターとの検査業務集約 三重県赤十字血液センターとの検査業務集約 平成19. 5 成分採血(血漿)の初流血除去開始 平成20. 1 成分採血(血漿)の初流血除去開始 平成20. 6 岐阜県赤十字血液センターとの製剤業務集約 平成20. 8 製剤ラベルの変更 平成21. 4 三重県赤十字血液センターとの製剤業務集約 平成21.11 第33回日本血液事業学会総会(第20回国際輸血学会アジア部会併設)を名古屋国際会議場で開催	平成12. 3 愛知県赤十字血液センター本館増改築工事完成 平成13. 2 名古屋市中村区名駅三丁目28番地12号(大名古屋ビルヂング3階)に名古屋駅前出張所(大名古屋ビル献血ルーム)を移転開設 平成13. 9 第25回日本血液事業学会総会を名古屋国際会議場で開催 平成15. 2 愛知県内の献血者延1,000万人達成 平成15. 3 星ヶ丘出張所(献血ルーム)閉所 平成15. 5 岡崎市明大寺町字寺東1ー1(名鉄東岡崎駅南館5階)に岡崎出張所(献血ルーム)を移転開設 平成16. 6 第二次全国統一システム稼働 平成17. 1 新鮮凍結血漿貯留保管用冷凍室完成 平成17. 6 愛知県赤十字血液センター献血推進本部設置 平成17.10 白鳥出張所(献血バス基地)を閉所し、愛知県赤十字血液センターに移動採血部門を集約 愛知県豊橋赤十字血液センターの製造部門を愛知県赤十字血液センターに集約 平成18. 3 複数回献血クラブ「四季桜の会」の設立 平成18. 9 白壁出張所(献血ルーム)の閉所 平成18.10 名古屋市中区大須三丁目30-40(大須万松寺ビル1階)に大須出張所(献血ルーム)を開設 岐阜県赤十字血液センターとの検査業務集約 成分採血(血小板)の初流血除去開始 平成19. 2 全血採血の初流血除去開始 静岡県赤十字血液センターとの検査業務集約 三重県赤十字血液センターとの検査業務集約 平成19. 5 成分採血(血漿)の初流血除去開始 平成20. 1 成分採血(血漿)の初流血除去開始 平成20. 6 岐阜県赤十字血液センターとの製剤業務集約 平成20. 8 製剤ラベルの変更 平成21. 4 三重県赤十字血液センターとの製剤業務集約 平成21.11 第33回日本血液事業学会総会(第20回国際輸血学会アジア部会併設)を名古屋国際会議場で開催
2010	平成22. 5 第58回日本輸血・細胞治療学会総会を名古屋国際会議場で開催 平成23.10 JRセントラルタワーズ20階に名古屋駅前出張所を移転開設 平成23.11 愛知県赤十字血液センター製造棟完成 平成24. 3 静岡県赤十字血液センターとの製剤業務集約 平成24. 4 広域事業運営体制開始 製造棟施設が東海北陸ブロック血液センターとして業務開始 愛知県豊橋赤十字血液センターを愛知県赤十字血液センター豊橋出張所に改める 県境を越える供給エリアの変更開始(岐阜県東濃地域⇄愛知県西尾張地域) 豊橋出張所を豊橋事業所に改める 平成25. 4 第50回献血運動推進全国大会を愛知芸術文化センターで開催	平成22.12 血液型・生化学検査及び血球計数検査成績の通知対象者の拡充 平成23. 4 採血基準の改正(男性に限り400mL献血が可能な方の年齢の下限を、「18歳」から「17歳」に引き下げ。 男性に限り血小板成分献血が可能な方の年齢の上限を、「54歳」から「69歳」に引き上げ。 平成26. 6 血液事業情報システム導入 平成26. 8 特殊製剤国内自給向上対策事業の実施 個別核酸増幅検査(NAT)の導入

Blood Centers in Japan

全国の血液センター

血液センターは全国各都道府県にあります。また全国を7つに分けて各ブロックを形成し、センター間での供給や情報交換を行い、地域に根ざした活動を行っています。

血液製剤を不足なくお届けするための 全国のネットワーク。

日本赤十字社が血液事業を推進するために、全国に血液センターが整備されています。
また各ブロックセンターでは、検査・製剤・需給管理部門の業務を行っています。

平成28年3月31日現在

- 日本赤十字社 血液事業本部(1)
- 中央血液研究所(1)
- ブロック血液センター(7)
- 地域血液センター(47)

北海道ブロック

●北海道ブロック血液センター

●北海道

東北ブロック

●東北ブロック血液センター

●青森県・岩手県・秋田県・山形県・福島県・宮城県

関東甲信越ブロック

●関東甲信越ブロック血液センター

●茨城県・栃木県・群馬県・埼玉県・千葉県・東京都・神奈川県・新潟県・山梨県・長野県

東海北陸ブロック

●東海北陸ブロック血液センター

●富山県・石川県・福井県・岐阜県・静岡県・愛知県・三重県

近畿ブロック

●近畿ブロック血液センター

●滋賀県・京都府・大阪府・兵庫県・奈良県・和歌山県

中四国ブロック

●中四国ブロック血液センター

●鳥取県・島根県・岡山県・広島県・山口県・徳島県・香川県・愛媛県・高知県

九州ブロック

●九州ブロック血液センター

●福岡県・佐賀県・長崎県・熊本県・大分県・宮崎県・鹿児島県・沖縄県

